

鶴岡市病院事業管理者の交代について

本市病院事業管理者を務めてこられました三科武氏(67)が、令和3年3月末をもって退任することとなったことから、同年4月1日より八木^{やぎみのる}実氏(65)を後任の病院事業管理者とすることに内定いたしましたので発表いたします。

八木実氏は、昭和57年3月新潟大学医学部を卒業後、同大学医学部附属病院外科入局、同大学小児外科学教室発足に伴い小児外科学講座に移り研究テーマとして小児消化管運動生理学を専門とされました。平成元年と平成4年それぞれ1年間、計2年間にわたり荘内病院小児外科主任医長として勤務した経験もあります。その後、平成18年4月久留米大学医学部外科学講座小児外科部門主任教授就任、平成29年4月から3年間同大学医学部附属病院長を務められ、大きな組織のリーダーとしての実績も十分にあり、令和元年には第56回日本小児外科学会学術集会会長も務められた実績のある方です。

三科武病院事業管理者には、昭和62年4月より荘内病院に赴任されて以来これまで34年間、病院運営にご尽力いただきますとともに、平成26年4月からは病院事業管理者として経営の安定化にご努力いただきました。また、現在の病院建設時には構想、設計、運営計画策定まで中心となってあたられ、一貫して市民の健康を守るという姿勢で市立病院の運営に注力してこられました。これまでの実績に心より敬意と感謝を申し上げます。

これからも、庄内南部地域の基幹病院として地域の医療機関との連携を強化し、高度・良質な医療サービスの提供に努めてまいります。

令和3年1月14日

鶴岡市長 皆川 治